

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1653415
園名	宝陽幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

かがくタイム

<テーマの設定理由>

テーマを生活の中にある現象や道具、自然と関連して、日々の生活の中で「なぜ？ どうして？」と考えたり、身近にあるものを工夫して作ったりする姿勢や実体験を大切に、実物の物を目の前で見て、自分で操作し、発見したり考えたりすることが経験となり、これからの学びの基礎となると思ったため。

2. 活動スケジュール

全3回	テーマ	タイトル
11月29日（金）	凧	紙だけで作った凧を飛ばそう
1月31日（金）	立体視、補色	色の不思議を楽しもう
3月7日（金）	静電気	こするとうまれる不思議な力

時間 ①9時50分～10時50分 ②11時～12時 2クラス

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

毎回実施するテーマが違うため、各テーマによって自然現象や色の不思議など、様々なことで子どもは発見し驚いている様子があった。例えば凧のテーマで凧を作った時にはどこにテープを貼れば凧はよく揚がるのか工夫をしていたり、静電気がテーマの日には静電気はどうしてできるのか、静電気が起きやすい身体の部位はどこか等、自分で考えて実際に試しては、ほかの友達に伝えている子どもの姿が見られた。

4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞



子どもたちはいつもとは違う先生の話に興味を持って聞いていた。
子ども自身で考え、どうしたらうまくいくか、どうすれば良いか同じテーブルの子どもと「こうしたらいいんじゃないか」等、話し合い、考えを伝え、友達や先生に自分の考えを伝えていた。また、ほかの子どもの意見を聞いて実際に試してみたりすることによって他の子の意見も素直に聞いている子どもの姿があった。
子どもたちはテーマの中で実際に見た自然現象に驚き、普段発言が少ない子も次の日に「家に帰ってお母さんに教えてあげたんだよ」と、朝担任に声をかけたり、実験で行ったことを思い出しながらこの素材だったらどうだろうなど子どもたちで探求心していく姿が見られた。